

番号 TJ26-21



TEAJ 協力講師から英語プレゼンに必要な技術を学ぶ

『英語でロジカル・シンキングー

英語で話す・書く・プレゼンするためのコツ』

●日時 11月28日(土)14時～16時 ●形態 Zoom ミーティング

●料金 一般 10,000 円(税込) TEAJ 会員 9,000 円(税込)

<講義のポイント>

1. 英語で説得力を上げる: 求められるロジック
2. 論理の型を身につける: ORE の積み木
3. 考えを整理する: マッピング、ナンバリング、キーワードの活用
4. 話す・書く・プレゼンに応用する: 事例紹介と演習



●講師 遠田 和子(Kazuko Enda)

一般社団法人 日本テクニカルイングリッシュ協会(TEAJ)協力講師/青山学院大学文学部英米文学科卒業

在学中に米国に一年留学。卒業後、大手電機会社に勤務。数年後フリーランス翻訳者として独立し、英訳者としてのキャリアを積む。翻訳の傍ら翻訳学校講師・企業での英語プレゼン研修講師を務め、英語学習本・記事の執筆にも取り組む。2002 年より英語ディベートの訓練、その後 Toastmasters 会員(現在は休会中)として英語スピーチの練習を 10 年以上続け各種大会にも参加。

講師からのメッセージ

「説得力がある、話が分かりやすい」英語コミュニケーションの場で、こんなふうに思われたいありませんか。そんな人になるための秘訣は「論理(ロジック)」です。

日本語では、思いつくままに話したり起承転結の文章を書いたりしても、受け入れてもらえることが少なくありません。しかし英語で何かを説明し誰かを説得したいときは、論理的に要点を述べる必要があります。

① まず意見・結論(opinion: O)を先に言う、② 理由を説明する(reason: R)、③ 具体例(example: E)を示す。①②③で示した ORE のステップを踏んでから最後にまとめ上げる。これがグローバルに通用する「ロジックの型」です。

実はとっても簡単なのに訓練の機会がありません。伝える力を磨くのに欠かせないこの型を、楽しく練習しましょう。英語だけでなく日本語を書く・話すときにも応用できます。

詳細は、こちらをご覧ください。 https://www.teaj.or.jp/seminar/#seminar_17

*Zoom ミーティングで行います。講座終了後、期間限定で録画をご覧ください。

お申し込み・お問い合わせは TEAJ ウェブサイトまで <https://www.teaj.or.jp/seminar/> ☞ info@teaj.or.jp